

ニュースポーツ貸出道具在庫一覧

NO.	種 別	道 具	数
1	子供用（平均台）	平均台（木製）	3
2	子供用（マット）	マット（赤・青各1枚）	2
3	輪投げ	輪投げ台 投げ輪（ロープ・プラ製各10個）	2 20
4	ビーンボーリング	ピンセット台 専用レーン（ブルー） ボール	1 1 4
5	ユニカール	ストーン スライドカーペット（緑）	6 1
6	チャレンジ ディスゲッター9 （ナイン）	ターゲット本体（組み立て完成品） パネル（数字1～9） パネル（絵） ボール（軟） フリスビー（軟） フリスビー（硬） 保管袋	1 9 9 10 5 2 1
7	スロープころりん5	レーン4枚1組 傾斜板（木製） ピン 球（赤・黄色 各10個） セッターシート（○・△・□）	1 1 10 20 3

8	室内用 グランドゴルフ ※スコアカードは コピーして使用する。	ホールポスト	3
		ゴールマット（ゴム製黒）	3
		旗（番号1・2・3）	3
		スターマット	3
		ボール	3
		パター	3
		スコアカード	1
9	バドミントン	バインダー	1
		ラケット シャトル	9

ニュースポーツ貸出道具在庫一覧 （写真）

No.1 子供用平均台



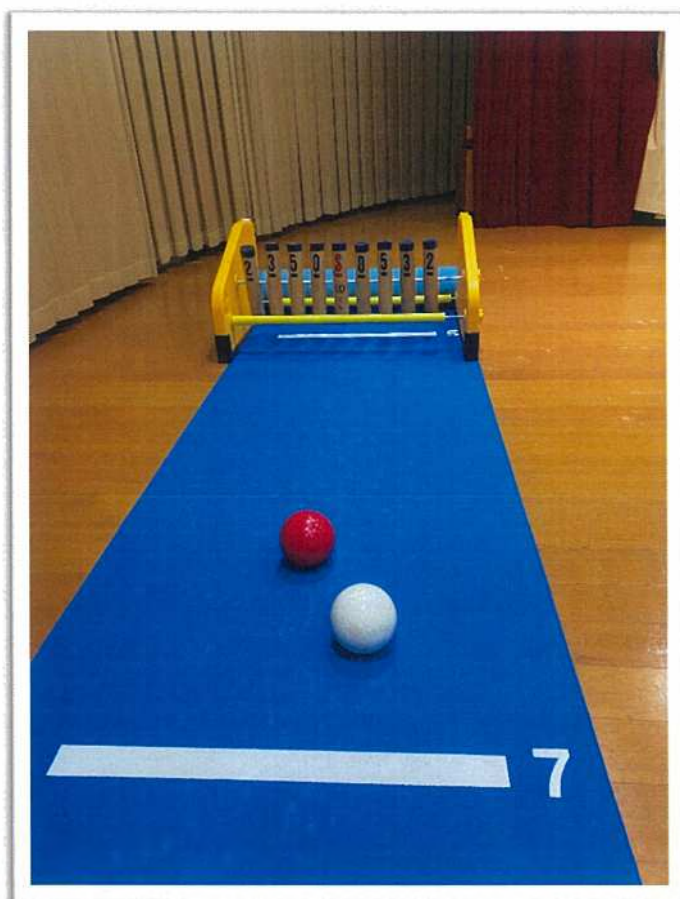
No.2 子供用マット



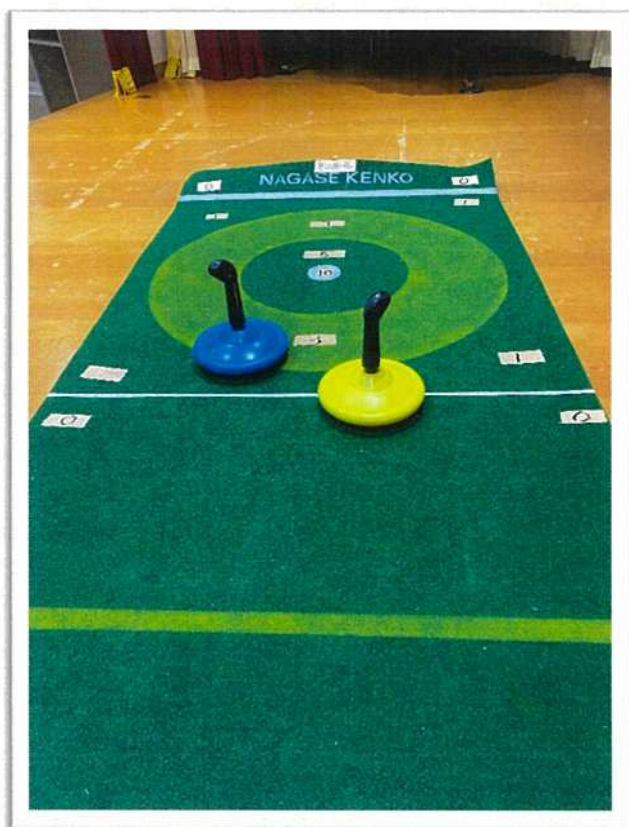
No.3 輪投げ



No.4 ビーンボーリング ※使用方法は別紙参照



No.5 ユニカール ※使用方法は別紙参照



2チームがそれぞれ3個のストーンを交互に投げ滑らせて、相手チームのストーンをはじき飛ばしたり味方チームのストーンを助けたりして、最終的に相手チームのストーンよりも味方チームのストーンを標的

No.6 チャレンジ ディスゲッター9 (ナイン)

challenge DISGETTER 9 ※使用方法は別紙参照

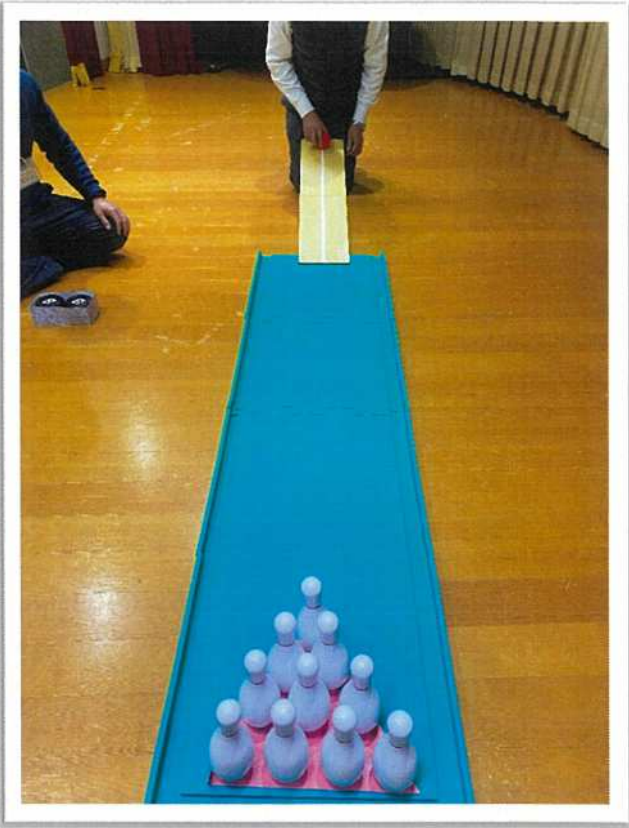
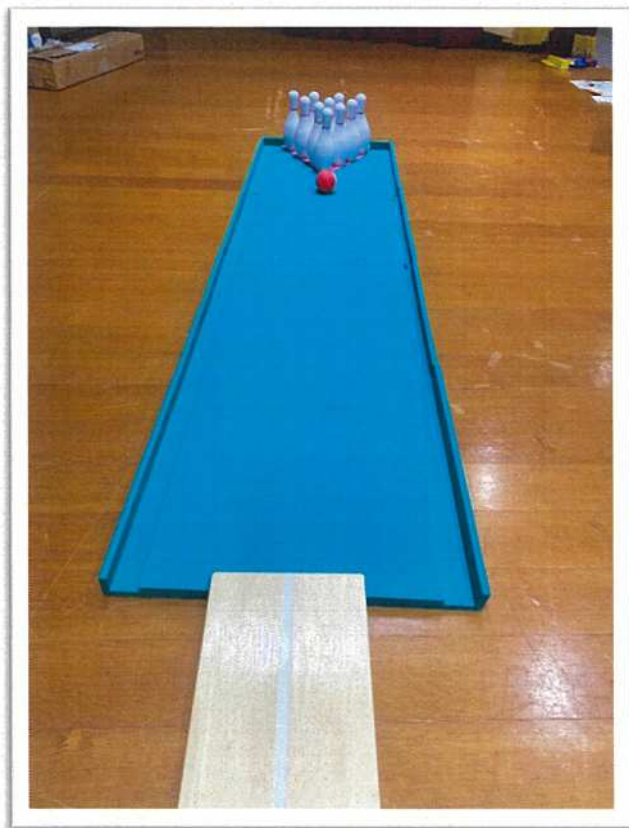


3x3 の 9 枚的抜きゲームが手軽に楽しめる。

ディスクを変えたり、投げる距離を調節するなど楽しみ方は自由



No.7 スロープころりん5 ※使用方法は別紙参照



No.8 室内用グランドゴルフ ※使用方法は別紙参照



特殊なボールを使用するため、屋外と同じように楽しめる様、考案されています。

畳やフローリング等、そのまま使用しても床や周りを痛めないため、場所を選ばずお楽しみいただけます。

No.9 バドミントン



スロープころりん5

(5100039)

このたびはスロープころりん5をお買い上げいただきありがとうございました。
この商品には下記の部品が入っております。速やかにご確認下さい。万が一、
不足や不具合がございましたら、お買い求めの代理店にご連絡お願い致します。

セット内容

- *レーン 4枚 1組
- *球 20個 (赤・黄色各 10個)
- *ピン 10本
- *傾斜板 (木製) 1枚
- *ボール (ピン) セッターシート 3枚

基本的な使用方法

この商品は、基本的に附属の傾斜板を使用して球を転がしてプレイします。
上肢などに障害があり、球を転がすことが困難な方や車椅子の方などにでも手
軽に楽しくプレイできます。非常に偶然性の高いゲームですので、容易に誰に
でも参加でき、楽しめ、さらに勝つチャンスがあります。レーンは4分割にな
っていますので、各レーンをジョイントして使用します。プレイする現場の広
さにより、2枚、3枚、4枚組合せることでレーンの長さを変える事ができます。
傾斜板は、二つ折りになっており、裏面にはすべり止めのゴムが2ヶ所ついて
います。傾斜板を伸ばして、座った状態でひざなどの上に置いて球を転がしま
す。また傾斜板を伸ばしたままで椅子に乘せたり、二つ折りにして作った坂か
ら球を転がすことも可能です。附属のボール (ピン) セッターシートは、レー
ンの上に置き、シートの穴の上にボールやピンを置くためのものです。ゲー
ムの種類によって使い分けます。黄色と赤の2色の球は各10個あります。球をね
らってぶつける「ナインナインキャノン」や「スロープリハビリヤード」の際
に、投げる球と的になる球の色分けができます。また色別対抗戦などにも利用
可能です。また各ゲームで使用する球は、時間やプレイする人数の関係で使
用する数を変えることができます。プレイする人数が多く、時間が限られている
場合は転がす球の数を少なくします。逆に時間に余裕のある時は、多くします。

遊び方

商品名である「スロープころりん5」の名前のとおり、代表的な遊び方は下記の5つあります。5つの遊びが楽しめます。下記に列記した5つ以外にでも、現場のスタッフの皆様の工夫次第で、オリジナルな遊びを創り出すことができるでしょう。

1. ナインナインキャノン

使用する部品：傾斜板、丸型ボール（ピン）セッターシート、
球 18 球(赤・黄色各 9 球)、レーン 4 枚（スペースにより、
2 枚、3 枚でも可）

遊ぶ前の準備：レーンをジョイントし任意の位置にボール(ピン)セッターシートを敷く。その際、球を転がして見て球をはじき出すだけの力が球にあるように配慮する。
シートの穴の位置に合わせて黄色か赤どちらか 1 色の球を 9 球置く。プレイヤーの位置を決め、椅子を置く（車椅子の場合は椅子をどかす）プレイヤーは椅子に座った状態で膝の上に傾斜板を置き、傾斜板の上からシート上の球をねらって球を離して転がす。プレイヤーの持ち球は 9 球で、シート上に置いた球とは異なった色の球を使用する。
(黄色か赤)

遊び方：①プレイヤーの順番を決める。
②プレイヤーは球を 1 個とり、余分な力が入らないように傾斜板の上から球を転がす。片麻痺の方には球を援助者が取って渡す。
③転がした球でシート上の球をシート外に弾き出す。
④シートから出された球の数が得点となる。
⑤プレイヤーが持ち球の 9 個を使い切らないでシート上の球 9 球を全てシート外に出した時は、残っている持ち球の数を得点に加算する。
1 球目で全ての球がシートから出た場合は最高得点 17 点となる(はじき出した球 9 球+残り球 8 球=17 点)

2. スロープスキットル

使用する部品：傾斜板、丸型ボール（ピン）セッターシート、
ピン9本、球9球(色は自由)、レーン4枚
(スペースにより2枚、3枚でも可)

遊ぶ前の準備：レーンをジョイントし任意の位置にボール(ピン)
セッターシートを敷く。その際、球を転がして
見てピンを倒すだけの力が球にあるように配慮
する。シートの穴の位置に合わせてピンを9本置く。
プレーヤーの位置を決め、椅子を置く（車椅子の場合
は椅子をどかす）プレーヤーは椅子に座った状態で膝
の上に傾斜板を置き、傾斜板の上からシート上のピン
をねらって球を離して転がす。プレーヤーの持ち球は9
球。（色は自由）

遊 び 方：①プレーヤーの順番を決め、傾斜板の上からシート上
のピンをねらい球を転がす。
②倒れたピンはそのままにしておき、次の球を転がす。
その際、球が倒れているピンに当たり、そのピンの
転がりによって立っているピンを倒しても有効とす
る。
③9球転がした時点で倒したピンの数を得点とする。
9球終了する前に全てのピンを倒した場合、未使用
の球1球につきピン1本として得点に加算する。
1球目でストライクが出た場合は最高得点17点と
なる。（ピン9本+残り球8球=17点）

3. 倒れピンボーリング

使用する部品：傾斜板、三角形ボール（ピン）セッターシート、
ピン 10 本、球 10 球(色は自由)、レーン 4 枚
(スペースにより 2 枚、3 枚でも可)

遊ぶ前の準備：レーンをジョイントし任意の位置にボール(ピン)
セッターシートを敷く。その際、球を転がして
見てピンを倒すだけの力が球にあるように配慮
する。シートの穴の位置に合わせてピンを 10 本置く。
プレーヤーの位置を決め、椅子を置く（車椅子の場合
は椅子をどかす）プレーヤーは椅子に座った状態で膝
の上に傾斜板を置き、傾斜板の上からシート上のピン
をねらって球を離して転がす。プレーヤーの持ち球は
10 球。（色は自由）

遊 び 方：①プレーヤーの順番を決め、傾斜板の上からシート上
のピンをねらい球を転がす。
②倒れたピンはそのままにしておき、次の球を転がす。
その際、球が倒れているピンに当たり、そのピンの
転がりによって立っているピンを倒しても有効とす
る。
③10 球転がした時点で倒したピンの数を得点とする。
10 球終了する前に全てのピンを倒した場合、未使用
の球 1 球につきピン 1 本として得点に加算する。
1 球目でストライクが出た場合は最高得点 19 点と
なる。（ピン 10 本+残り球 9 球=19 点）

4. スロープリハビリヤード

使用する部品：傾斜板、長方形ボール（ピン）セッターシート、
球 18 球(黄色・赤各 9 球)、レーン 4 枚
(スペースにより 2 枚、3 枚でも可)

遊ぶ前の準備：レーンをジョイントし任意の位置にボール(ピン)
セッターシートを敷く。その際、球を転がして
見て球をはじき出すだけの力が球にあるように配慮
する。シートの穴の位置に合わせて赤か黄色の球を
9 球置く。

プレイヤーの位置を決め、椅子を置く（車椅子の場合
は椅子をどかす）プレイヤーは椅子に座った状態で膝
の上に傾斜板を置き、傾斜板の上からシート上の球
をねらって球を離して転がす。プレイヤーの持ち球は
9 球。（黄色か赤）その際、置く球と転がす球の色は
どちらかに統一した方が良いでしょう。

遊 び 方：①プレイヤーの順番を決め、傾斜板の上からシート上
の球をねらい球を転がす。
②シート上の球はそのままにしておき、次の球を転が
す。
③9 球転がした時点でシートからはじき出した球の数
を得点とする。9 球終了する前に全ての球をはじき
出した場合、残り球 1 球につき得点 1 として加算す
る。

5. セブン・キー・スリー

使用する部品：傾斜板、三角形ボール（ピン） セッターシート、
ピン 4 本、黄色い球 3 球 赤い球 7 球、レーン 4 枚
(スペースにより 2 枚、3 枚でも可)

遊ぶ前の準備：レーンをジョイントし任意の位置にボール(ピン)
セッターシートを敷く。その際、球を転がして
見てピンや球を倒すだけの力が球にあるように配慮
する。シートの穴の位置に合わせて球を 3 球とピンを
4 本置く。(図 1 参照)
プレイヤーの位置を決め、椅子を置く(車椅子の場合
は椅子をどかす) プレイヤーは椅子に座った状態で膝
の上に傾斜板を置き、傾斜板の上からシート上の先頭
部分にある黄色い球 3 球をねらって球を離して転がす。
プレイヤーの持ち球は赤い球 7 球。

遊 び 方：①プレイヤーの順番を決め、傾斜板の上からシート上
のピンをねらい赤い球を転がす。
②シート上の球や倒れたピンはそのままにしておき、
次の球を転がす。その際、球が倒れているピンに当
たり、そのピンの転がりによって立っているピンを
倒しても有効とする。
③7 球転がした時点で倒したピンの数を得点とする。
10 球終了する前に全てのピンを倒した場合、未使用
の球 1 球につきピン 1 本として得点に加算する。
1 球目でストライクが出た場合は最高得点 13 点と
なる。(ピン 4 本 球 3 個+残り球 6 球=13 点)

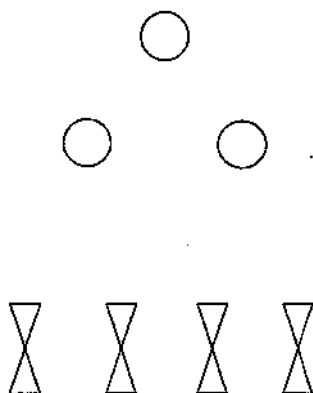


図 1

遊ぶ際の工夫

- ①傾斜板の上で球を転がすときは、「球を放る」というよりも「球をつかんでいた手をぱっと放す」ような感じ行くとよい。
- ②シート上に配置してある球やピンにうまく当てるために、傾斜板の幅のどこからでも転がしてよい。
- ③各プレーヤーの技をみんなに見てもらい、工夫のある技を参考にしてもらう。
- ④1個も当たらない投球が3回続いた場合、1回のやり直しのチャンスを与える。
- ⑤最高得点者が2名以上いる場合は、順位決定戦を行なう。
- ⑥最低得点者には、最後にもう一回プレイのチャンスを与え、一発逆転の可能性を残す。
- ⑦視覚に障害を持つ方などには、傾斜板とレーン上の球をプレイする前に触れてもらう。
- ⑧片麻痺の方には球を援助者が取って渡す。

言葉かけ

- ①「椅子に腰掛けたら、深呼吸をして、落ち着かれたら、さあどうぞ！」
- ②視覚に障害を持つ方などには、「あと少し右よりです。少し戻して…そこです！」
- ③「手首の力を抜いて～球をぱっ！と放して～」など投球の前にアドバイスをする。
- ④各プレーヤーが終了するたびの「すごい技が飛び出しましたよ！」「惜しかったね！次は頑張りましょう！」などモチベーションをあげるように、盛り上げる。



注意！

1. 危険ですので、附属の球やピンは絶対に投げたり振り回さないでください。
2. 危険ですので、傾斜板の上には乗らないでください。
3. 危険ですので、プレイ中にはレーン中に侵入したり手を出さないでください。

株式会社トッケン